



雨雲を吹き飛ばした皐月祭

前日からの雨で開催が危ぶまれた今年の皐月祭でしたが、生徒たちのみなぎるパワーが雨雲を吹き飛ばし、予定通りの全種目を実施できました。

「輝～結ぶ魂～」のスローガンの通り、どの組団もこれまでの練習の成果を発揮し、競技や応援で素晴らしいパフォーマンスを披露しました。

毎年恒例の学年種目では、各クラスの団結力や協調性を高めようと、練習と話し合いを繰り返し、練習時の記録更新を目指しました。本番では速さを求める余りミスが出る学級もありましたが、随所に工夫と改善の跡が見られ、接戦が繰り広げられました。

圧巻だったのは各組団の「アピールタイム合戦」です。3年生のリーダー達が昨年度から準備を始め練りに練った内容だけに、見応え十分でした。しかし、ここに至るまでには、計り知れないほどの苦悩があったことは、各組団が発行する組団報から察することができました。緑組団長の菊地陸叶さんの文章を紹介します。



「協力し合うと聞けば簡単なことのように聞こえるかもしれませんが、実はそうでは無くもっと複雑なものなのです。そのことは、今回の皐月祭の練習をしていく中で身に染みてわかったことと思います。(中略)協力し合うことの難しさを感じ、悩み、失敗し、その失敗をバネに成長してほしいということです。」「言葉は人に様々な影響を及ぼします。ある一言で人を怒らせ、喜ばせ、感情を動かしたり、ある一言で人を感動させ人を動かす原動力になったりもする。どうか組団内、いや組団外でも様々な言葉を掛け合い、優勝目指して頑張りましょう。」

今回の取組を通して3年生は、リーダーとして先頭に立つ苦しさや難しさを実感することを通して大きく成長しました。そんな3年生を側で見て支えてきた2年生や1年生も、1年後、2年後の自分たちを想像できたに違いありません。本校の三大行事はどれも生徒たちの成長の場です。次回の銀河祭では、どのような成長の姿が見られるか期待せずにはられません。



